

「過員」営業人の転勤を許すな 「過員」営業人の「過員」対策

勝利争闘ジェット塚三里 / 粉碎革行調臨

当局は、動労千葉の提案をうけ入れて、 「要員問題」の真の解決をはかれ！

当局は七月十九日の団体交渉において、予科生の営業系統への短期転勤を提案してきました。われわれは、当局施策の失敗を労働者に犠牲転嫁する無責任な「過員対策」を断じて許すことはできません。動労千葉は逆提案を行い、当局に要求をつきつけて闘いぬいています。

無為無策、身勝手な当局提案

「当局提案」では、「現在検修業務についている予科生について、当面一九八五年三月末まで千葉、西船橋、錦糸町の要員センターに短期転勤させ、特別改札や混雑時の尻押し業務に従事させる」としています。

「当局提案」の根拠は、いうまでもなく千葉局の要員状況にあります。

すなわち、営業系統の欠員状況に比べ、運転系統は三〇〇人の「過員」をかかえているという点であり、当局はこの「過員」を営業で使おうというわけです。

そもそも「過員」なるものは、当局が業務を切り捨て、部外委託したことによって発生したもので、われわれ労働者には全く責任のないことです。ところが当局は、運転業務の部外委託等によって生まれた「過員」を、営業が部外委託した「尻押し」等に使おうというのです。

全くもって、当局の無為無策、身勝手なやり方に怒りを押えることができません。

「運転車掌業務」の「列車掛」への移管を —— 動労千葉が逆提案 ——

しかし、われわれは現実の問題として職場に三〇〇人の「過員」が存在している厳然たる事実について見据えたいので、当局に対し断固として正当な対応策を要求していかねばなりません。

動労千葉は以上の立場から当局に対して、総武快速・緩行線の運転車掌業務を列車掛（予科生）

へ移管せよとの「逆提案」をつきつけました。

当局提案は、現在臨雇（アルバイト）が従事している業務の肩代りにすぎず、運転から転勤したとしても営業の定員とはならず、営業系統の要員ひっ迫状況を打開する手だてにはなりません。

一方、車掌業務の一部を運転系統に移管すれば特退、京葉線開業等ますますひっ迫する営業系統の要員問題の解決になるばかりか運転系統の「過員」を解消するという大きなメリットがあります。動労千葉の方針こそが「過員」攻撃を阻止する道

動労千葉の要求があまりにも正しく、優れているがゆえに、当局は反論できないばかりか「この提案は正当だ」と認めています。

にもかかわらず、旧態依然の硬直した思考で、これを受け入れることに抵抗を示しています。われわれは「特改要員」提案を阻止するために動労「本部」革マルのように「再建フォーラム」によって当局と話し合い「骨身を削って働く」（Ⅱその結果、ますます自ら「過員」状況を増大させていく）のでなく、当局から実力で仕事をもぎとっていかうではありませんか。

当局の「余剰人員解消策」と称する「三本柱」の攻撃は、運転職場のわれわれが対象であり、動労千葉の面的方針こそがこうした攻撃を粉碎する唯一の道なのです。

動労千葉の要求を全組合員のものとし、断固として実現をかちとろうではありませんか。

定期大会の成功を 9回 大会

「動労千葉指令第20号（一九八四年七月二日）」をもって召集された「動労千葉 第九回定期大会」は、現在各支部での代議員選出にむけての過程に入っています。

- ▲※ ①七月三〇日選挙公示。②八月八日立候補締切り。③八月九日候補者の発表。④八月二〇日投票。（不在投票八月十七・十九日）⑤八月二一日開票。⑥八月二二日当選確認

第9回定期大会

日時……一九八四年九月十二日（水） 十時開会、
九月十三日（木） 十七時終了。

場所……鴨川市・鴨川館

国鉄―三里塚決戦勝利にむけ、全組合員の英智と団結力を総結集しよう！活発な職場討議と圧倒的な傍聴体制をかちとろう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！